

平成30年度 第1回伊勢市産業支援センター運営協議会 議事録

- 1 日 時：平成30年7月31日（火）10：00～11：30
- 2 場 所：伊勢市産業支援センター 研修室
- 3 出席者：委員13名
事務局 商工労政課：課長、南係長、西村
産業支援センター：澤村センター長、中村事業責任者、
土屋理事、長井事業コーディネーター
- 4 欠席者：2名
- 5 概 要：美濃委員長により進行。内容は以下のとおり。

議題

- (1) 平成29年度事業結果について
- (2) 平成30年度事業報告について
- (3) その他 伊勢市より事業報告

○主な意見等

- ・ものづくり補助金の申請フォローをしていただいているが、採択があったことはすごいこと。不採択の事業者については来年に向けて更なるブラッシュアップをしていただきたい。今年度のものづくり補助金の採択実績として、岐阜、石川が伸びていた。これは、支援者がよかったとも言われている。三重は採択率が低いので伊勢市にはよりがんばっていただきたい。そういった成功事例を各企業に報告していただければ、産業支援センターを知ってもらえるいい機会となる。
 - ・就労支援について学校職員に対する説明会を引き続き実施していただきたい。
 - ・セミナー等でアンケートを取っているが、参加する人がなにを求めているか探求し、次のセミナーに活かしていただければと思う。
 - ・しんきんビジネス参加企業のフォローアップをしていただきたい。
- 平成29年度からそれまでに比べ、より専門性の高い人材の採用やセミナーを行ったことで、アンケート内容についてもより詳しい回答が得られた。今後の事業の参考としたい。
- ・生徒、教員含めどういった企業がどういうことをやっているか分かりにくい。生徒は、企業を一部しか見ることができない。そういう面では、出前授業は本当に助かっている。
 - ・新ビジネス研究会の内容を教えてほしい。
- 新たな事業としてなにがふさわしいのか研究するところから始める。去年はトレンドから、ICTや介護といった事業に注力していた。

- ・企業支援員が実際に企業を訪問し、専門家や活用できる支援について、話をつないでいるのは非常に有効だと思う。実際に訪問することで、需要の発掘等もある。今後も継続していきたい。
 - ・周知は新聞折込等も力を入れていただいていると思うが、周知が進んでいないと感じる。広報いせ等も活用いただきたい。
 - ・産業支援センターを知らない人が多い。建設組合でも多くの組合員がいる。そういった各組織にも声かけいただきたい。
若くして創業をする方たちは、一人で創業しようとしても、わからないことがたくさんあり、からまわりすることが多い。そういった方がセンターのことを知れるよう周知に努めていただきたい。
 - ・支援室の入居状況が低い。インキュベーション施設は産業支援センターの魅力の一つであると思う。こちらについても、周知活動を徹底していただきたい。
- 広報いせや商工会議所の会長レポートなどの媒体を使い周知していきたい。新たに起業する方の特徴として、飲食業、小売業、理美容業が多く、支援室を利用し、起業する方が少ない。新ビジネス研究会により新事業を創出し、支援室の入居に繋げる事ができればと思う。
- ・伝統工芸関連で起業家支援室を出て起業している方がいると思うが、そういった方をよりPRしていただきたい。
 - ・女性活躍の時代であり、産業支援センターでも女性起業セミナー等数多くの事業がありとても感心する。
- 平成 29 年度から女性起業座談会など女性スタッフのみで実施し、女性が参加しやすい場を提供するなど、注力している。
- ・産業支援センターがフォローした補助金採択の事例をイラスト入りでホームページに掲載したらどうか。
 - ・伊勢小俣町商工会としてもものづくり補助金をフォローしていたが、先端設備の導入を盛り込んだ計画でないと採択は難しいように感じる。
 - ・創業支援員の方が毎日のように自身の Facebook を更新していて、活動していただいているのはわかる。こういったことも報告の中に加えていただければと思う。補助金利用について、昨年取組もうと考えたが、計画書の策定など準備に時間がかかり申請までたどりつけなかった。そういった補助金申請のコツといったことを産業支援センターで教えていただけるのはとても良いことだと思う。
 - ・センターが支援した成功者の報告会は必須であると感じる。ぜひとも、実施してほしい。伝え方も工夫した楽しい報告会を考えてほしい。必要であれば、協力もできる。
4 月から入ったコーディネーターに意気込みをお聞きしたい。
- 創業された方や、インキュベーション施設に入っている方など一人でやっていくと周りのコミュニケーションがとれなくなる。そういった方にどのようなアプローチをし

ていくか探求していきたい。また、創業に興味、関心があるが、創業まで踏み出せない「潜在的な創業者」に対し、支援を行っていきたい。

- ・ 訪問件数が昨年度だけで 780 件もあり、今までの訪問も合わせるとかなりの件数になる。訪問した企業の傾向をまとめていただきたい。
- ・ 企業の機械、電気系統などが故障し、今まで依頼していたところが廃業したといったことが多い。そういった場合次にどこに相談すればいいかわからない。センターデータベースでそういった情報を発信していただければと思う。
- ・ 夏休みなど学校の先生を集め、市内の企業の話聞く場を提供していただきたい。
- ・ 現在、三重県産業支援センターでは、事業承継に重点を置いている。事業承継セミナーについても参加していただければと思う。
- ・ ものづくり補助金以外にも、IT 導入補助金や省エネ補助金などもあるためそれらも活用していただきたい。
- ・ 伊勢市民がもっと前に出て行くような、意識改革をしていく必要がある。
- ・ (事業承継についてのアンケート結果から)

利益が上がり、経営も好調な企業が廃業するケースがあり、なぜかと聞くと子どもに継がせたくないといった声がある。そういった企業に親族以外の後継者をマッチングさせるような取組をしていかないといけない。

→本日いただいた意見をふまえ事業に取り組んでいきたい。

中小企業の振興にむけた様々な補助制度がある。また、先端設備の導入に関する支援制度も間もなく始まる。こういった制度を活用いただき、少しでも中小企業者のお役に立てればと思う。